

シリーズ「墓石・墓地のことなど」

トラブルにあう前に考えることは。

お墓の上手な選び方・建て方

第4回

トラブル解消法を伝授!!

「お墓にまつわるあれこれ」

今月号ではシリーズ第1弾の最終回として「お墓」について、よく尋ねられることの中から、知っておくと役に立つ内容をいくつかご紹介いたします。

「よいお墓」と「悪いお墓」の違いはありますか？

お墓はどんな建て方をしたとしても「悪いお墓」にはなりません。建てたお墓を「良いお墓」にするのも、すべてはお墓にお守りする方次第です。また、最近はお墓だけに限らず低価格商品が、結果的に粗悪品だったというような問題が起っています。お墓も「高ければ良い」というものではありませんが、安すぎるものに良いものはありません。お墓にも適正価格があり、「価格に見合った仕事」というものがあります。お墓を建てることは一生に一度あるかないかのことで、一般の方々は分かりにくい商品ともいえます。そのため、価格を安くするために、使用する石の量を減らそうと、構造上問題があるような設計をしていたり、平均1週間かかる仕事を3日ほどで完成させたりと、手抜き工事を施す業者もいますので十分な注意が必要です。本当に良いものは、技術の高い職人が手間隙かけて作っているため、それなりの費用もかかります。

お墓を建てるまでの流れについて教えてください

① 一般的な流れについて説明します
② 墓地をお持ちでない場合は、まず、墓地選びから始めます。場所や雰囲気、ご家族の宗旨宗派などを含めて検討し、その条件に合う墓地を探し、いくつか見学し区画の広さ

や施設の充実度などが条件に合うかどうかを確認します。石材店も空き区画のある墓地について情報を持っているところもありますので、相談することもよいでしょう。

② 墓地が決定したら、建てる場所を申し込み、購入します。一般的には永代使用料を支払い墓地の使用権を取得します。このとき使用規則の内容を確認することが大切です。

③ 次に墓石の準備に入ります。予算をもとに石材店の担当者との種類、デザイン、字彫、納期など細かく打ち合わせます。見積書をもらい工事内容や価格を確認し、疑問点があれば必要事項が記入された契約書や保証書を取り交わして下さい。

④ 契約後は区画・石材の工事です。工事中、少なくとも一度は現場に足を運ぶことをお勧めします。きちんとした石材店であれば工事の進み具合を確認させてくれます。

墓石の種類や購入に際しての注意点は？

墓石の形や大きさには、特別な決まりはありませんが、基本的に以下の大きく3つに分けられます。

○ 和型墓石：日本で古くから建てられている角柱型のお墓です。

○ 洋型墓石：公園墓地などにみられる横長の墓石を用いたお墓です。

○ オリジナル墓石：自由な発想で個性を出した墓石です。

本来、お墓は使用する「石の量」と「石の種類



類で墓石の本体価格(工事費は別途)が決まりますので、石の量と種類が同じであれば、規格品であろうとオーダー品であろうと形が変わっても価格は変わりません。しかし、先月号までシリーズで述べてきましたが、要注意な石材店はO型とか△△タイプなどの規格品を販売している業者がほとんどです。加えて自社で設計・デザインをするところがほとんどなく、また、それができる知識と経験を持つプロと呼べる営業マンや業者ではないために、墓地のサイズに入る規格品を薦め、余ったスペースに石を貼るだけで済ませたりするものが現状ですので、安易に規格品購入で済ませないように注意してください。信頼できる石材店では、建てられる方の希望を採り入れ、オリジナル墓石を墓地の広さに合わせて設計・デザインを自社で行い、お気軽に自由自在にでき、安心して依頼できます。

家族の過去、現在、未来をつなぐ

大切なお墓。第1回目で述べましたが、お墓は家族の伝統を重ねていく「終(つひ)の棲家(すみか)」、つまり「家の根」となるものです。ご家族の大切な方が眠る場所。ご先祖様と語り合える安らぎの場です。読者の方々が信頼できる石材店にめぐり合え、安心して満足できるお墓を建てられることを日本石材産業協会では心から願っています。

今シリーズはこの4回目をもって終了いたします。年に一度はこのようなシリーズを掲載していく予定です。ぜひご期待下さい。

「創業90年」
江副石材の自信

安心と信頼の「長期保証」
10年保証は、当然の制度です。
独自の品質・施工でお客様と永いお付き合いをさせていただいております。

詳細のお見積もり&設計図面を提示
1つ1つの費用を明確に明示し、ご納得のいくまでご説明します。
既製のCAD図面ではなく、手書きの設計図面をご確認いただけます。

九州一円お伺いいたします
熊本県内に限らずどの地域でもお伺いいたします。(送迎もしております)
写真も準備しておりますので、写真でのご確認も可能です。

石の記憶

肥後国学の先駆者 帆足長秋

山鹿市久原にある二宮神社兼一ツ目神社の神職の子として生まれる。幼少から父より読み書きを学び、16歳の秋からは近郷の塾に通い、20代中頃から下益城郡廻江村(現熊本市南区)の神職、守山河内の下で神道を学んだ。

神道研究中に国学への関心がかきたてられた長秋。学ぶからにはぜひ本場で、と意を決して向かった先は伊勢国松阪(現三重県松阪市)。日本最古の歴史書といわれる「古事記」の解説に成功した国学者・本居宣長の下だった。伊勢での長秋は宣

長の著作「直隗霊(なほのたま)」や「古事記伝」などの筆写による精読の日々を送る。生活費に困って帰郷した後も学びへの熱意は冷めず、地元民からの援助で1791年5月2日に再び伊勢に向けて出発。6月10日に宣長の下に着した際には正式に門人録に名を連ねることができた。帰郷した長秋から宣長の国学の話を聞いたのは、肥後熊本藩士・長瀬真幸(ながせ・まさき)。藩校時習館教授・高本紫溟の愛弟子であり、10代の頃から古学に関心を持ち、長秋と同様に守山河内の下で神道を学んでいた。長秋から宣長の国学の筆写を見せてもらった真幸は感銘を受け、師・高本とともに宣長に入門。藩校の学長ともい

べき高本紫溟が研究に取り組み始めたことで、国学は肥後の地で急速な広がりを見せた。

もしかして、お墓はどれも一緒だと思ってませんか？

大切な墓石選びは、安心のブランド!

「石の世界」展示場へ!!

価格 78万円~
(墓石・工事費・消費税込)
*各種ローンOK!(メモリアルローンあります)

私たち「江副石材」は、品質・技術・価格・アフターケアの全てに自信を持って必ずあなた様へご満足をお届けいたします。
まずはお気軽に、本社・「石の世界」竜田展示場へお越しください。
お電話またはホームページからのお問い合わせもお待ちしております。

特殊デザイン灯籠他 意匠登録済み 江副石材では、独自の傾斜・曲面加工の耐震型墓石をご提案しております。 <http://www.ezoe.co.jp>

本社「石の世界」竜田展示場 一般社団法人 日本石材産業協会熊本県支部会員
熊本市北区龍田2丁目19番31号(三の宮旧57号線沿い)
TEL 096-338-8684 (代表)
菊陽工場 菊池郡菊陽町津久礼2827 TEL 096-232-6161 (代表)

至市街 北バイパス 竜田口駅
至大津 旧国道57号線 肥後銀行 三宮神社 竜田展示場 竜田展示場 営業しております。